



【先週 2月7日～2月13日の外食の出来事】

■ロイヤルHD、双日が筆頭株主に 銀行含め160億円支援

ロイヤルホールディングスは双日や銀行から計160億円の資本支援を受ける。双日が第三者割当増資に応じて1割強の株式を握る筆頭株主に。コロナが長期化するなか、筆頭株主が交代する業界再編まで動きが広がる。

■マクドナルド、コロナ下で営業最高益 20年12月期

2020年12月期は営業利益が前の期に比べ1割増えて300億円強と過去最高になったようだ。新型コロナウイルスの感染拡大で苦戦が目立つ外食業界の中で、持ち帰り需要などを取り込んで利益を伸ばした。

■物語コーポレーション、上半期(2020年7月～12月)の連結業績 増収増益

2021年6月期 第2四半期の連結業績は売上高344億7200万円(前年同期比9.4%増)、経常利益36億300万円(同100.1%増)、四半期純利益24億4500万円(同137.1%増)と増収増益を確保した。

■ゼンショーHD 最終赤字1.9億円 20年4～12月期

2020年4～12月期の連結決算は、最終損益が1億9200万円の赤字(前年同期は103億円の黒字)だった。店内飲食が中心のファミリーレストランを一部閉店するなどして特別損失28億円計上したのが響いた。

■ペッパーフードサービス 3期連続の最終赤字

2020年12月期決算は売上高310億8500万円(前期比53.5%減)、純利益は39億5500万円の赤字。最終赤字は3期連続。ペッパーランチ事業の株式売却で73億2000万円の特別利益を計上したが、3期連続の最終赤字に沈んだ。

■木曾路、第3四半期(2020年4月～12月)の業績 減収赤字

2021年3月期 第3四半期(2020年4月～12月)の業績を発表。売上高235億2000万円(対前年同期比28.6%減)、営業損失34億8000万円(-)、経常損失30億9000万円(-)、四半期純損失49億7400万円(-)であった。

■スシローGH、純利益35%増 持ち帰り・宅配好調

2020年10～12月期の連結決算は、純利益が40億円と前年同期比35%増えた。国内外の新規出店に加え、持ち帰りと宅配サービスがコロナ禍の巣ごもり需要を捉えた。売上高にあたる売上収益は7%増の595億円。

■サンマルク、第3四半期(2020年4月～12月)の連結業績 減収赤字

2021年3月期 第3四半期の連結業績を発表。売上高319億6700万円(対前年同期比40.0%減)、営業損失31億1100万円(-)、経常損失30億4900万円(-)、四半期純損失58億4100万円(-)であった。

■幸楽苑ホールディングス、第3四半期(2020年4月～12月)の連結業績 減収赤字

幸楽苑の2021年3月期 第3四半期の連結業績は売上高201億6700万円(対前年同期比31.8%減)、営業損失13億1500万円(-)、経常損失12億3900万円(-)、四半期純損失10億4600万円(-)であった。